

これまでの学習内容のまとめとして、品詞という観点からアラビア語文法の基本を整理しましょう。アラビア語の(単)語は、1. 名詞、2. 動詞、3. 不変化詞の3つに大きく分類されます。

●名詞

名詞(事物の名前)・形容詞(事物の性質・状態)・動名詞・分詞などを含むカテゴリーで、原則として、以下の4つの文法的特徴をもっています。

- 1) 文法性(男性・女性)がある。
- 2) 数(単数[1]・双数[2]・複数[3以上])の区別がある。
- 3) 格変化(主格・属格・対格)がある。
- 4) 定性(不定・限定)の区別がある。

これら4つの条件が組み合わさって、名詞の語形が決まります。例えば、mudarris (先生)という名詞は、各条件によって以下の語形をとります。

{ 男性・女性 }	{ 男性・女性 }	{ 男性・女性 }
+	+	+
{ 単数・双数・複数 }	{ 単数・双数・複数 }	{ 単数・双数・複数 }
+	+	+
{ 主格・属格・対格 }	{ 主格・属格・対格 }	{ 主格・属格・対格 }
+	+	+
{ 不定・限定 }	{ 不定・限定 }	{ 不定・限定 }
//	//	//
مُدَّرِّسٌ	الْمُدَّرِّسَاتِنِ	مُدَّرِّسِينَ
(一人の)男性教師	二人の女性教師	男性教師たち

●動詞

動作・行為・状態変化などを表す語で、以下の特徴をもっています。

- 1) 主語の人称によって活用する。全部で13種類の人称活用形がある。
人称(1人称・2人称・3人称)×文法性(女性・男性)×数(単数・双数・複数)
- 2) 完了・未完了という相(アスペクト)を区別する。法(ムード)を含め、5つの語形がある。
完了形: すでに終わった事柄を表す(完了・過去)
未完了形(直説法・要求法・接続法):
まだ終わっていない事柄を表す(現在・未来・非現実)
命令形: 相手に対する命令を表す

- 3) 基本形と派生形がある。

3子音動詞

第1形(基本形)・第2形～第10形(派生形)

4子音動詞

第1形(基本形)・第2形(派生形)

- 4) 能動態と受動態がある。

これら4つの条件が組み合わさって、動詞の語形が決まります。

{ 1人称・2人称・3人称 }	{ 1人称・2人称・3人称 }
{ 男性・女性 }	{ 男性・女性 }
{ 単数・双数・複数 }	{ 単数・双数・複数 }
+	+
{ 完了・未完了(直・接・要)・命令 }	{ 完了・未完了(直・接・要)・命令 }
+	+
{ 第1形・第2～10形 }	{ 第1形・第2～10形 }
+	+
{ 能動態・受動態 }	{ 能動態・受動態 }
//	//
كَتَبَ	تُسْتَقْبَلْنَ
彼は書いた	あなた方(女性)は出迎えられる

- ※ 各動詞は、語根を構成する子音により、<強動詞・重子音動詞・ハムザ動詞・弱動詞>等に区別されます。強動詞以外はやや不規則な人称変化を行うことから、これらをまとめて不規則動詞と呼ぶこともあります。<強動詞・重子音動詞・ハムザ動詞・弱動詞>のそれぞれが、第1形～第10形の動詞形を展開させますが、これまでの文法解説で扱ったのは、強動詞の第1形～第10形というごく基本的な部分です。不規則動詞の第1形や4子音動詞の第1形の活用については、付録の動詞活用表を参照してください。

●不変化詞

屈折・活用しない語のことで、前置詞・接続詞・副詞・間投詞などが含まれます。

فِي	وَ	أَنَّ	فَقَطْ	هَيَّا
前・～の中に	接・そして	節・～ということ	副・～だけ	間・さあ